

日本地球電気磁気学会会報 (53号)

47号  
1972年6月17日

日本地球電気磁気学会  
連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16  
郵便番号 113  
東京大学理学部地球物理学教室内  
電話 03-812-2111 内線 6476  
振替 東京 48-610番

第52回総会ならびに講演会についてのお知らせ

今年秋の学会は11月7日～10日の4日間盛岡で開催される予定の旨、  
先の総会の席上でお知らせ致しましたが受け入れ機関と再連絡致しました結  
果下記のように変更させていただきます。

日時 : 昭和47年10月23日(月)～26日(木)

場所 : 盛岡市内丸3番45号

岩手県自治会館

Tel 0196(22)6171

運営委員会の連絡不十分から皆様方をお騒がせしました事を深くお詫び申  
し上げます。

## 福島委員長挨拶

### 「学会創立25周年にあたって」

日本地球電気磁気学会委員長

福島 直

本年5月は、私たちの学会が創立されてから25年、また田中館先生がなくなられてから20年になります。第二次世界大戦後食糧不足や物資不足に悩まされながらも、地球電磁気学の発展を願って全国の同志が結集してつくられたのが本学会であり、昭和22年5月22日に東京大学医学部講堂で発足の式をあげております。当時日本は世界の学界においても孤児であり、世界の舞台に復帰できたのは1951年であります。

国際地球電磁気学連盟は国際地球物理学連合の中では最も歴史が古いものの一つであり、その初代会長を田中館愛橘先生がつとめられました。田中館先生は春秋の本学会席上にお見えになり、親しく後輩を励ましておられました。また長岡半太郎先生、中村清二先生もしばしばお見えになりました。本学会のこれまでの歴史を顧みますと、学会運営にたずさわった方々の一方ならぬ御努力が、本日の学会の隆盛をもたらしております。私達は今後とも、今までの基盤の上に立つてなお一層の発展をはかるよう努力いたしたいと思います。来年9年には京都においてIAGA学術総会が開催されることになっておりますから、その機会を利用して会員各位の日頃の努力の成果を十分に発表できるように今から準備をしておいていただきたいと思います。

## 第51回総会報告

昭和47年6月2日 13時30分～15時

於 東京大学薬学部講堂

小川会員の開会の辞の後、等松会員が福島委員長より総会議長に指名された。

1. 小口高大会委員長（東大・理）より歓迎の挨拶があつた。

### 2. 報 告

庶務（玉尾）： 新入会員（別記）紹介

会計（小嶋）： 現状報告

会誌（小嶋）： 4月以降投稿論文数は30編を越えており、  
本年度第1号は7月中旬に、第2号は8月末  
に発行の予定であるとの報告が行なわれた。

### 3. 田中館賞

福島委員長より次の5会員に田中館賞が授与され、引き続き審査  
報告が行なわれた。

第55号 小嶋 美都子

「強磁性鉱物の酸化と磁性に関する研究」

第56号 河島 信樹

「宇宙空間プラズマシミュレーションの実験」

第57号 藤田 尚美

「G S I型航空磁気儀の開発と航空磁気測量結果の考察」

第58号 小玉正弘

「多重度中性子計による一次宇宙線スペクトル変化の研究」

第59号 新妻信明

「堆積岩の残留磁気に基づく地磁気逆転の研究」

4. 長谷川記念杯

力武常次

米沢利之

両会員に第8号及び第9号長谷川記念杯ならびに感謝状が贈呈された。

5. 福島委員長挨拶は学会創立25周年ということ、終戦直後の学会設立当初のエピソードを紹介され、また田中館先生歿後20年忌にあたるので  
会員有志で弔問することを述べられた。

引き続き、永田会員より最近の国際会議等について報告が行なわれた  
(別記)。

6. 議 事

総会出席者108名、委任状25名、計133名で総会が成立していることを確認した後、議事に入り、小嶋運営委員より

i) 昭和46年度決算報告(別記)

ii) 昭和47年度予算報告(別記)

について説明が行なわれ、異議なく承認された。

iii) 田中館メダル

続いて近藤運営委員より次の様な運営委員会提案があり、賛成多数で承認された。

『田中館賞は田中館メダル及び賞状とする。メダル作成に要する経費は原則的には学会で負担するが、会員からの寄付も積極的に受け入れる』

具体的にはメダルのデザイン等を検討の上、遅くとも来年度から実施出来る様に準備を進めて行く事になった。

#### 7. 次期開催地

秋期総会・講演会の開催地として木村運営委員から岩手大学(盛岡)にお願いしたいとの提案があり、高橋会員からお引き受けするとの発言があつて、盛岡市で行なうことになった。

最後に太田評議員から今期学会のお世話を頂いた東大地球物理の関係者に謝辞が述べられ、総会を終了した。

#### 第51回総会ならびに講演会後記

昭和47年度春期講演会は東京大学好仁会の2つの会議室で行なわれました。会場の設備、環境はお世辞にも良いといえるものではありませんでしたが、講演数は188編に達し学会創立25周年にふさわしい盛り上りをみせました。予稿集も1部1,000円という値上げ(?)にも拘らず残部なしという盛況でした。今回の特別講演は創立25周年ということで、永田、前田両会員に記念講演をお願いし、次の様な演題でそれぞれ地球電磁気学の発展のあとをエピソードを交えて回顧して頂きました。

永田 武 氏(東大理)

地球電磁気学の25年史

前田 憲一 氏(京大工)

Development of Ionosphere Study

永田先生は地球電磁気学の発展における我が国の先達の業績をユーモアを交えながら紹介され、前田先生は電離層物理学発展の上での実験と理論の仲立としてのデータ処理表現の重要性を御自身の経験を含めて特に強調されま

した。学会の設立から今日迄の25年間を文字通り歩いて来られた両先生のお話しは非常に感銘を与えるものでした。

昭和46年度決算報告

収入の部

支出の部

前年度繰越金	795,349	第49回総会費	229,851
正会員会費	1,042,373	第50回総会費	229,510
準会員会費	1,456,517	会誌J.G.G	
賛助会員会費	0	23-1	831,999
文部省助成金	360,000	23-2	834,490
預金利子	46,816	23-3/4	1,077,776
予稿集売上	354,470	編集事務費	20,000
印刷代金	1,105,399	会報等印刷費	52,600
別刷交換会々費	21,500	通信郵送費	126,530
		消耗品費	8,563
		会合費	11,980
		学会連合費	1,000
		謝金	181,240
		田中館賞々金	14,500
		繰越金	1,382,385
計	5,182,424	計	5,182,424

7250

7人

長谷川基金

収入の部

支出の部

前年度繰越金	500,895	事業費	13,150
預金利子	17,810	繰越金	505,555
計	518,705	計	518,705

1977

昭和47年度予算案

収入の部

支出の部

前年度繰越金	1,382,385	第51回総会費	250,000
正会員会費	684,000	第52回総会費	250,000
賛助会員会費	20,000	会報等印刷費	120,000
預金利子	29,000	通信郵送費	171,000
予稿集売上	400,000	消耗品費	40,000
別刷交換会々費	22,000	編集・出版分担金	300,000
		会合費	15,000
		謝金	120,000
		田中館賞々金	21,800
		繰越金	1,249,585
計	2,537,385	計	2,537,385

長谷川基金

部	収入の部		支出の部	
3,150	前年度繰越金	505,555	事業費	26,300
5,555	預金利子	22,355	繰越金	501,610
	計	527,910	計	527,910
3,705				

新入会員

- 堀内俊洋 (京大工)
- 檜垣大 (気象大学校)
- 内藤悠史 (京大工)
- 橋本弘蔵 (京大工)
- 佐藤夏雄 (東大理)
- 岡野章一 (東大理)

田中館メダル作成基金募集

今回の総会において田中館メダルを作成することが承認されました。その作成費用は本来学会経費から支出すべきであります。学会財政が豊かではありませんので、田中館メダル作成に際しての型代(約20万円)については、会員有志からの寄附を仰ぐことになりました。趣旨に御賛成されます方々に御援助をお願いいたします。なお御寄附は学会会計面では賛助会員費に計上させていただくことにします。



御申出は8月15日までをお願いいたします。御送金は当学会事務所あてい  
かなる方法によつても差支えございません。

国際会議・シンポジウム紹介(永田会員)

- 1972年1月 . 第3回月会議(Houston),  
3月 . Conference on Core-Mantle  
Interface(Florida),  
. IMS(London)  
G(Ground based)-B(Balloon)-  
R(Rocket-born obs.),  
をIMS事業に有効に組込むようにするための手  
引書がつくられる。  
5月 . COSPAR(Madrid)  
X,  $\gamma$ -rays Astronomy,  
Magnetosphere,  
Atmosphere of Planets.  
8月 . URSI General Assembly  
(Warsaw),  
9月 . Workshop on Electromagnetic  
Induction within the Earth  
(Edinburgh).

1973年9月10日~21日

第2回IAGA学術総会(京都)

Scientific Symposiumの他にIAGA  
改組も問題になる予定。

○ I A G A 1973年学術総会

1973年9月9日-21日の間、京都国際会館においてI A G Aの第2回学術総会が開催されることになっています。9月9日(日)は登録日、講演会：シンポジウム・作業部会などは9月10日(月)-21日(金)です。外国むけ第1回サーキュラーが本年7月には発送されます。今回の学術総会でとりあげられる主なテーマには、次のようなものがあります。

- 1) Modern magnetic observatory techniques.
- 2) Magnetic measurements and anomalies at sea.
- 3) Low level satellite survey.
- 4) Secular variation with particular reference to IGRF.
- 5) Geomagnetic anomalies, rock magnetism and petrography.
- 6) Magnetic polarity transitions.
- 7) Paleomagnetic intensity variations and the  $^{14}\text{C}$  balance.
- 8) The lunar magnetic field: Present steady field, ancient field and theoretical models.
- 9) Electromagnetic induction studies of tectonic regions:  
Deep conductive structures and physical processes  
in the earth.
- 10) Electrical conductivity of the earth and moon: Laboratory and field studies.
- 11) Micropulsations: Theory and new experimental results.
- 12) Magnetospheric substorms: Time-sequence of events,  
Ionosphere-magnetosphere interactions, Instabilities,  
Prediction of substorms.
- 13) Magnetospheric configuration: Magnetospheric structure,

Magnetospheric models, Conjugate point experiments,  
Recent results from IMP-1 and S3.

- 14) Workshop on geophysical indices.
- 15) Dynamics, chemistry and thermal processes in the ionosphere and thermosphere.
- 16) Workshop on active experiments in the magnetosphere.
- 17) Aurora and airglow: Global precipitation patterns, Localized structure and excitation, Photoelectron and recombination processes, Dynamical effects in the atmosphere, Emission from other planets.
- 18) Planetary atmosphere and exosphere.
- 19) Aeronomy and meteorology of the stratosphere and mesosphere.
- 20) History of geomagnetism in the Pacific area.

上記会議は日本学術会議主催で開催され、本学会は後援学会となっております。

この会への参加申込・講演申込についてはいずれお配りするサーキュラ-にて知つていただけることと思いますが、御質問などおありの場合は、福島直（東大理）までお問合わせ下さい。

#### お 知 ら せ

○ STAC Chart

Solar Terrestrial Activity Chart (STAC)

の1968年後半分27 day chartsが出来上りました。

御希望の方は東大宇宙研大林に御注文下さい。

○ 「現代の地球観」講習会

主 催： 日本物理学会

期 日： 7月26日(水)～7月28日(金)

会 場： 科学技術館ホール(東京都千代田区代官町2)

日	程	講 義 題 目	講 師
7月26日(水)			
9.30～12.00		地 球 序 説	坪 井 忠 二
13.00～15.30		宇宙・月・地球	岡山大温泉研 松 井 義 人
15.45～18.15		地 球 の 内 部	東大地震研 金 森 博 雄
7月27日(木)			
9.30～12.00		地 球 の 磁 気	東大地震研 力 武 常 次
13.00～15.30		実験室の中の地球	東大物性研 秋 本 俊 一
15.45～18.15		海洋底の物理	東大海洋研 小 林 和 男
7月28日(金)			
9.30～12.00		弧 状 列 島	東 大 理 杉 村 新
13.00～15.30		プレートテクトニクス と海の火山	東大地震研 中 村 一 明
15.45～17.15		新しい地震観	東大地震研 金 森 博 雄
17.30～18.30		地震の予知	東大地震研 力 武 常 次

講習会聴講申込書様式  
(大きさB6版、用紙適宜)

氏名  
連絡先(詳細に)  
勤務先  
聴講料 一般9,000円 会員7,000  
学生5,000円

申込受付開始 5月22日(月) 午前9時より

申込宛先

社団法人 日本物理学会  
〒105 東京都港区芝公園3-5-8  
機械振興会館211号室  
電話 東京 434-2671(代表)  
振替貯金口座 東京 167544番

---

田中館メダル基金申込書

日本地球電気磁気学会事務所 御中

会員氏名

所 属

田中館メダル作製基金として金\_\_\_\_\_円を賛助会費  
として寄附致します。

○ IAGA学術会議についてのお知らせ。

IAGA 京都会議の First Circular が出来ましたので同封致しました。準備の都合がありますので、参加希望者は添附してある予備登録書に必要事項を記入の上(宿泊の斡旋を必要としない場合はその旨御記入下さい)、下記に御送り下さるようお願いいたします。

東京都港区六本木 2 2 - 3 4      〒 1 0 6

本日本学術会議事務局調査課国際会議係

なお、かなり先のことではありますが、日本から論文を提出される方は論文アブストラクトのコピーを福島 直(東大理; 締切日 1973年6月10日)あてお送り下さるようお願い致します。